

令和六年二月二十九日 希望の光勉強会

神 示

「運命」に重なる人生は

人々との出会いを生かし 生きがい多い人生となる  
なれど 運命の力に気付けず

運命を磨くすべが分からずに 生きる人々が多い  
社会が一つにまとまらず 争い 乱れる因が ここにある  
信者に申す

「教え」を学び

「人生の真理」に気付きを得て 生きるべし

一日一日 朝・夕 祈願をもって

気付きを悟りに高める努力を重ねる  
自然と 社会のあるべき姿が見えてきて

迷う思いは消えてゆく

この時 「希望の光」が通り

「運命」が心の動きを導き 守っている

「希望の光」は

人類が 開運人生を手にするための不可欠な条件

「教え」に「真理」を読み取り

祈願で悟りに変えるなら 必ず通る「光」

「心の道」に受け継ぐ実体が一つ また一つ修正されて  
品性が高められてゆく

——「道」を守りて「光」が通る——

「希望の光」を通す心を知って 祈願を重ねる